

## 図書館事業

### 〔1〕気軽にいつでも気持ちよく利用できる図書館

#### <目標・取組み概要>

すべての市民に、気軽に、いつでも気持ちよく利用される図書館を目指します。

- (1) 市民の意向を的確に把握し、市民が求めている図書館運営を目指します。
- (2) 市民が各種情報を容易に得ることができるよう、多様な資料の収集・整理・保存に努めます。また、各種視聴覚資料および逐次刊行物の収集、整理を行います。
- (3) 市民が求める図書館資料等をいつでもどこでも迅速に提供できる窓口サービスの強化に努めます。
- (4) 図書館と市民ボランティアとの協働で各種行事を展開することにより、市民への利用促進を図ります。

#### <自己評価>

- (1) 図書館協議会では、「守谷の図書館概要」を中心に運営状況を検証しています。公共図書館としての運営やサービスが適切に行われているかなど、市民の目線で意見を聴くことができました。

先進地視察研修では、指定管理者制度を導入した千葉県野田市立興風図書館視察を行いました。

- (2) 資料収集については、市民一人当たり資料費500円が確保されており、23年度購入の図書資料16,220冊、視聴覚資料595点、雑誌301タイトル、新聞33種を収集・整理することができました。
- (3) 利用については、市民一人当たりの貸出数12.1冊、一日平均の貸出者723人という状況です。東日本大地震による4月から3ヶ月間の休館にもかかわらず、高水準を維持することができました。
  - ・ 図書館利用カードの継続交付により、図書館の利用促進を図ることができました。
- (4) 図書館を拠点に市民参加型ボランティアが「読み聞かせ、本の修理、音訳テープ・点字本の作成等」積極的に活動しています。図書館への登録団体・サークル数は17団体、会員210人です。市民ボランティアによるおはなし会78回〔週2回程度〕、本の修理2,500冊など、市民との協働による図書館活動を進めることができました。
  - ・ ブックスタートは、生後3・4ヶ月児健診時に行っています。月2回、延べ655人の乳児に参加をいただきました。親子のふれあいの大切さやコミュニケーションの大切さを伝えるため、ボランティアによる読み聞かせ、絵本の無料配布(2冊)を行いました。
  - ・ 読書週間にあわせ、ボランティア団体による各種講座が開催され、多くの来館者でにぎわいました。また、リサイクルブックフェアを開催し、古くなった本の有効活用を図ることができました。初日の来場者316人、1,506冊〔1冊100円〕、2日目の来場者558人、5,267冊を無料配布しました。

### ＜今後の課題と対応方向＞

- (1) 自由かつ公平な市民サービスを展開するには、図書館運営及び各種行事について、市民の目線で見えた意見等を聴くことが大切です。視察研修は、先進地でしか得られない情報や運営方法を研究する上でも必要です。
- (2) 他館に比べても、市民一人当たり資料費は県内トップと高水準であり、今後ともこの水準を維持していきたいと考えています。図書館資料の保存方法についても検討していく必要があります。
- (3) 貸出や利用者の増加に対応するため、市民が求める資料及び情報提供、書架整理などを適切に行うなど、更なる窓口サービスの向上にも努めていきます。
- (4) 読み聞かせ、ブックトーク、パネルシアターなど、市民が受講できる各種講座の実施により、ボランティア活動を続けていただける方の育成と、活動の場の確保に努めていきます。
  - ・ ブックスタートボランティアについては、毎回5人程度の参加があります。また、1.6歳児や3歳児を対象とした親子への読み聞かせを平成23年度から始めましたが、今後も継続して実施していきます。
  - ・ 読書週間の催しとして、ボランティアによる講座を開催していますが、マンネリ化しつつあります。今後は、内容等について協議を行い、魅力あるものにしていきます。また、不用となった本でも市民に活用できるものがあるため、今後もリサイクルブックフェアを続けていきます。

### ＜外部の方々からいただいた意見＞

- \* 図書館協議会の開催数の件で、重要な案件や諮問答申がある場合、回数を増やして欲しい。
- \* 豊富な資料収集と要望の多い視聴覚資料を充実することができている。
- \* 茨城県公共図書館サービス指標の推計によると、市民一人当たりの貸出数は第2位の評価を得ている。
- \* 市民ボランティアによるおはなし会は、延べ1,107人の参加者があり好評です。
- \* ボランティアには、子育て経験の豊かな方もいるので、赤ちゃんの扱い方が上手。
- \* リサイクルブックフェアで本を探すのが楽しみ。

## 〔2〕図書館機能の強化とサービスの充実

### ＜目標・取組み概要＞

市民の知的欲求を保障し、日常生活に生かすため、図書館機能の強化とサービスの充実を図ります。

- (1) 図書館ネットワークの活用により、市民が求める資料及び情報を効率的、効果的に提供するサービスを行います。
- (2) 学校、保育所、幼稚園との連携強化を図り、読書環境及び読書活動の支援を推進し

ます。

#### <自己評価>

- (1) 図書館ネットワークを通じて、どこでも誰でも公平な利用案内、各種情報及び貸出返却を提供することができました。希望の本の予約では、最寄りの窓口への配送サービスにより、本を届けることができました。
- (2) 学校図書館奉仕員の配置及び学校図書館システムの効果により、検索機能の向上や窓口対応が迅速にできるようになりました。小学校児童の年間一人当たり貸出数23冊、中学校生徒の年間一人当たりの貸出数3.4冊でした。なお、学校図書館の蔵書の充足率は、小中学校とも平均104%と国の基準を超えることができました。

#### <今後の課題と対応方向>

- (1) 本の予約は一日平均429冊であり、毎日これらの準備や配送を確実に行っていかねばなりません。図書館及び図書室間の配送とブックポストの回収など、火曜日から日曜日の不可欠な作業であることから、継続性の手法を再検討する必要があります。
- (2) 小学校図書館の利用は順調に伸びてきていますが、中学校図書館は部活動や勉強などで読書する余裕がないように思われます。図書館及び学校図書館との情報交換を進めて、学校図書館システムの有効利用を図るための検討が必要です。

#### <外部の方々からいただいた意見>

- \* 本の予約をインターネットや窓口で申し込みをすると、最寄りの図書室への配送があるので大変便利です。
- \* ブックトークなどに児童生徒の保護者ボランティアの活用を図るべき。

### 〔3〕施設・設備の安全

#### <目標・取組み概要>

誰にでも使いやすい図書館を目指し、施設環境の整備、充実に努めます。

- (1) 保守点検及び修繕に努め、市民に快適な空間を提供できるよう努めます。

#### <自己評価>

- (1) 東日本大地震による天井改修では、天井材の軽量化を含む耐震補強を図り復元することができました。
- (2) 空調設備等の補修工事を行い、利用者に快適に利用いただきました。
- (3) 児童フロアの窓にゴーヤによるグリーンカーテンを設置し、環境に配慮した空間を提供することができました。

#### <今後の課題と対応方向>

建設から17年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。施設の改修を計画的に進めます。

<外部の方々からいただいた意見>

- \* 節電による温度調整のため空調を稼動しないことから、暑い寒いが極端である。節電も大切だが、利用者のことも考えてほしい。
- \* 開館時間を夏の時間帯ぐらいに延長してほしい。